

【和綿の収穫方法とタイミング】

■開花、結実(朔果)

開花後2日ほどすると花が萎れ、下向きに垂れ下がってきて、根本部分に小さな実ができません。

実は徐々に膨れ、直径3~4cmほどまで成熟すると実の周り皮が弾けて(開絮=かいじよと言います)、コットンボールとなります。

■コットンボールの房と種

一つのコットンボールは、だいたい和綿で3~4個、洋綿では4~5個の房に分かれていて、それぞれの房の中には6~7粒ほどの種が入っています。

■収穫のタイミング

開絮しても、まだ初めのうちは、房がぎゅっと締まっっていて、中の繊維も種も成長を続けている状態ですので、この時点では摘み取らないでください。

完全に弾けたあと、萼が開き切って、ワタの繊維が徐々に伸びて、房全体が写真のように、少し”たわわ~”と垂れ下がってきた頃が、収穫のタイミングです。

ただ、台風などの強い風雨にさらされる恐れのあるときは、ある程度、成長が進んでいるコットンボールについては、房が落ちてしまう前に収穫した方が良いでしょう。

■収穫方法

コットンボールがたわわと垂れ下がってきたら、房を一つ一つ、萼からそっと抜き取るように摘み取ってください。

観賞用に、萼や葉っぱごと摘み取る場合もありますが、繊維としての利用を目的とする場合は、必ず房だけを摘み取るようにしてください。

萼ごと収穫してしまうと、保管しているうちに、萼や葉っぱが乾燥し細かく崩れ、繊維の間に入り込んでしまうので、要注意です。

■収穫したワタの保存方法

摘み取ったワタは、まだ湿気が残っている場合が多いので、温かな日中に数時間、天日干しをするなどして、完全に水分を乾燥させてから保管してください。

房の中に入っている種は、取らずにそのまま保管していただいて結構です。

【台風対策】

綿の幹が成長すると、台風などによる雨風の影響で倒れやすくなります。支柱立てたり、摘芯をすることで風対策になります。特に必要なさそうであれば、支柱は立てなくても大丈夫です。

また、摘芯により主枝の成長を止めることで、栄養を、花実の付く側枝に行き渡らせることができます。70cmを目安に摘芯をしてください。

既に実がはじけてワタが見えている場合、台風などの強い風雨にさらされる恐れのあるときは、ある程度、成長が進んでいるコットンボールについては、房が落ちてしまう前に収穫した方が良いでしょう。雨風で汚れないように早めに収穫いただくことをおすすめします。

既に花が終わり実が大きくなって開絮を待つ状態であれば

枝ごと抜いて(根は切り落としてもOKです)屋内の風通しの良いところで、逆さまにぶら下げてドライフラワーにしても実は弾けます。

これから秋にかけてのコットン収穫はとても楽しいので、皆さんでぜひ体験してみてください。

